

経営比較分析表（令和5年度決算）

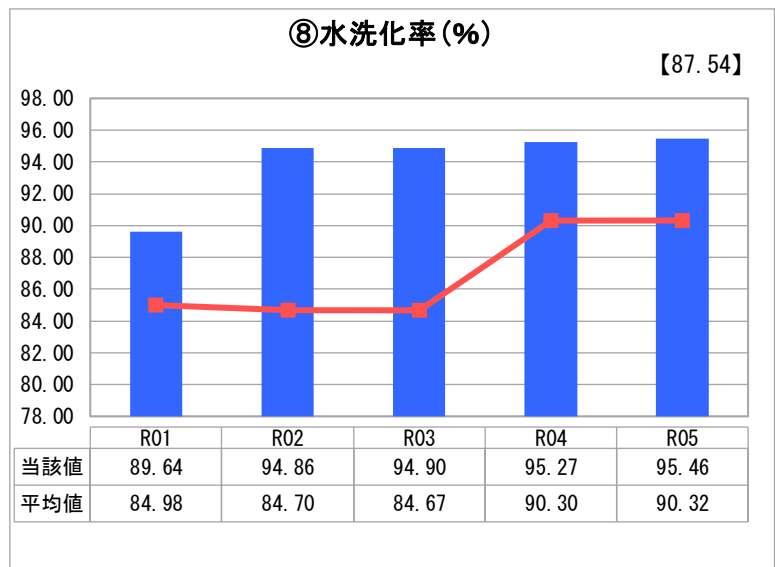
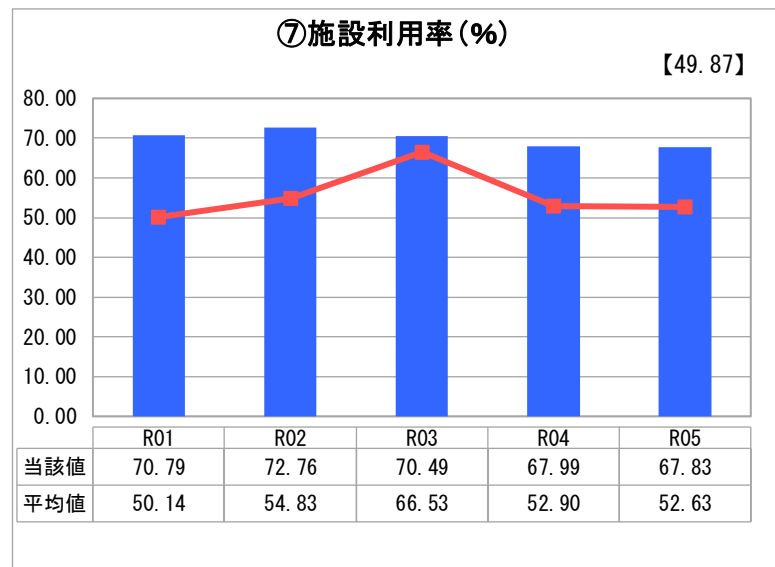
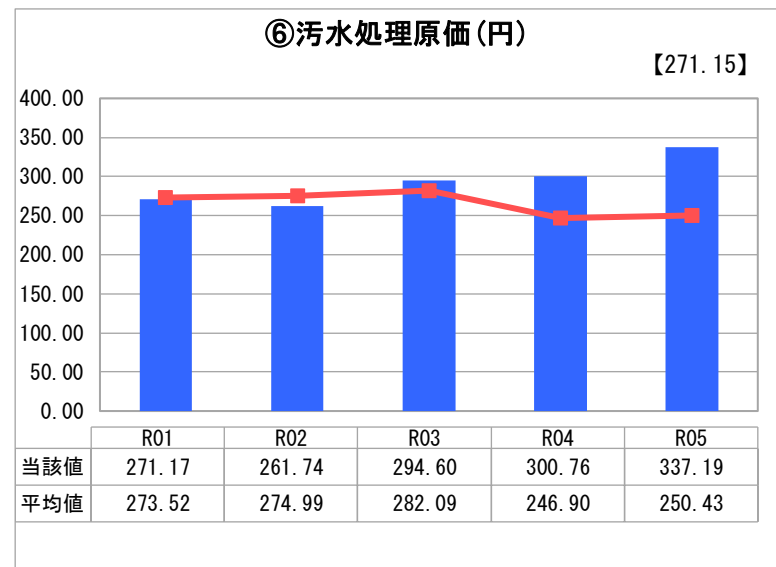
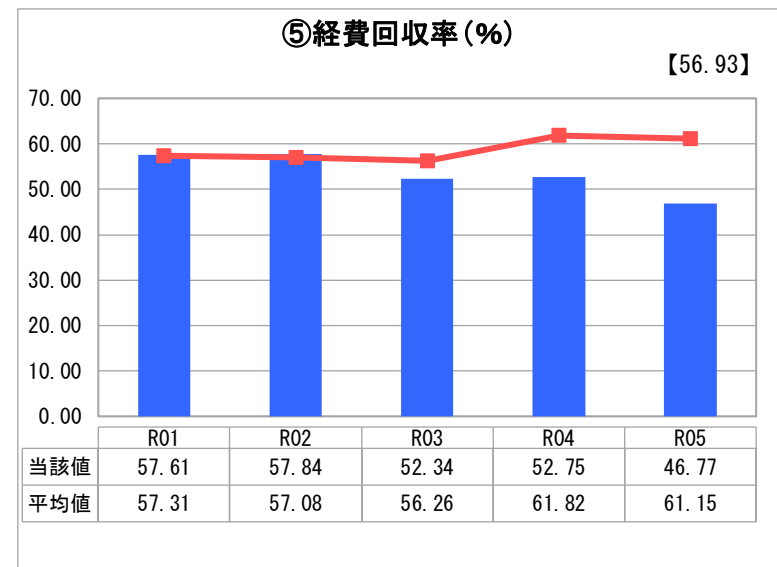
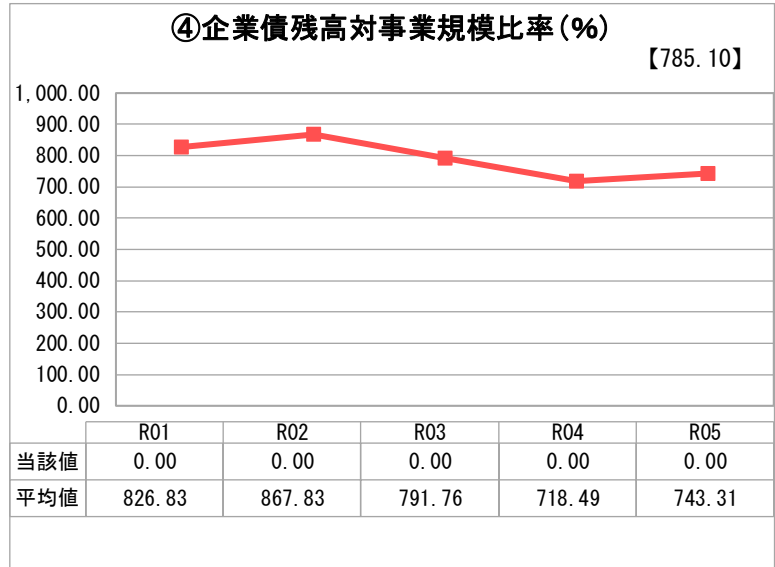
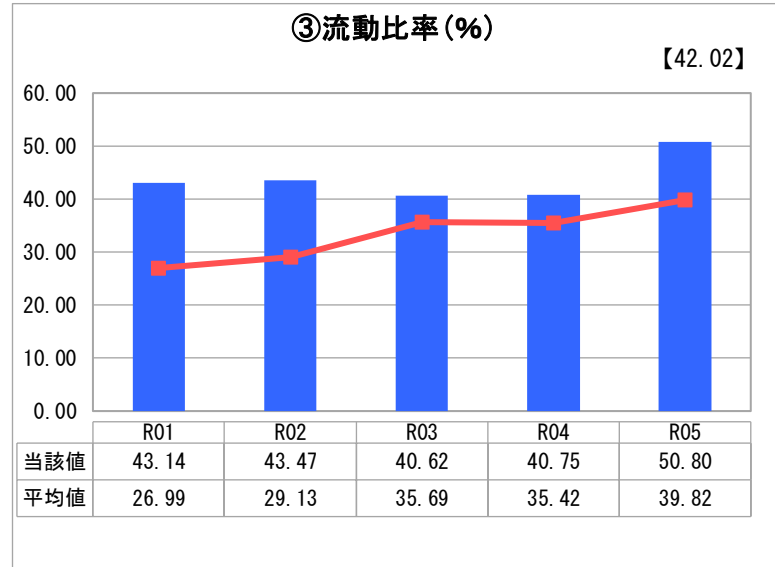
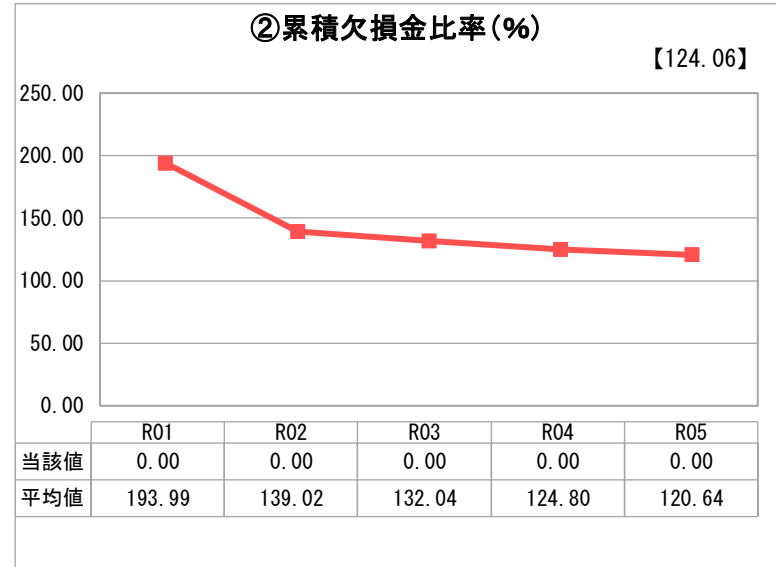
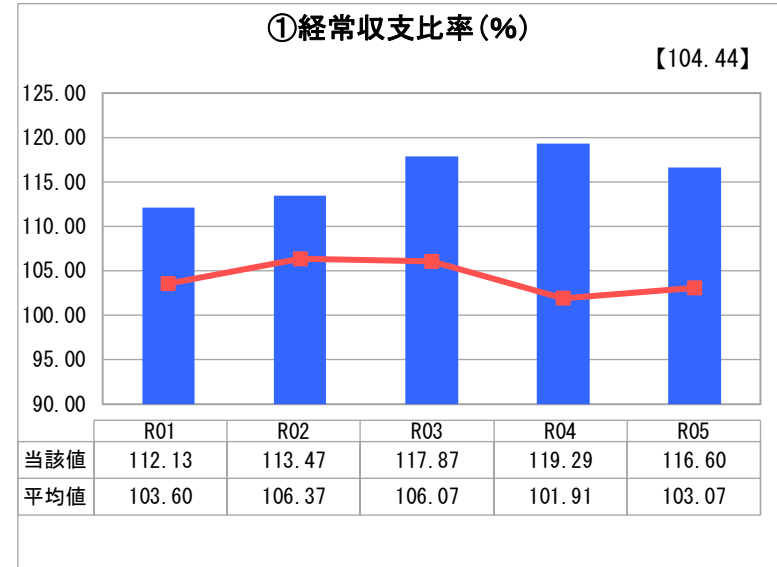
山口県 山口市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.57	4.46	98.14	3,080

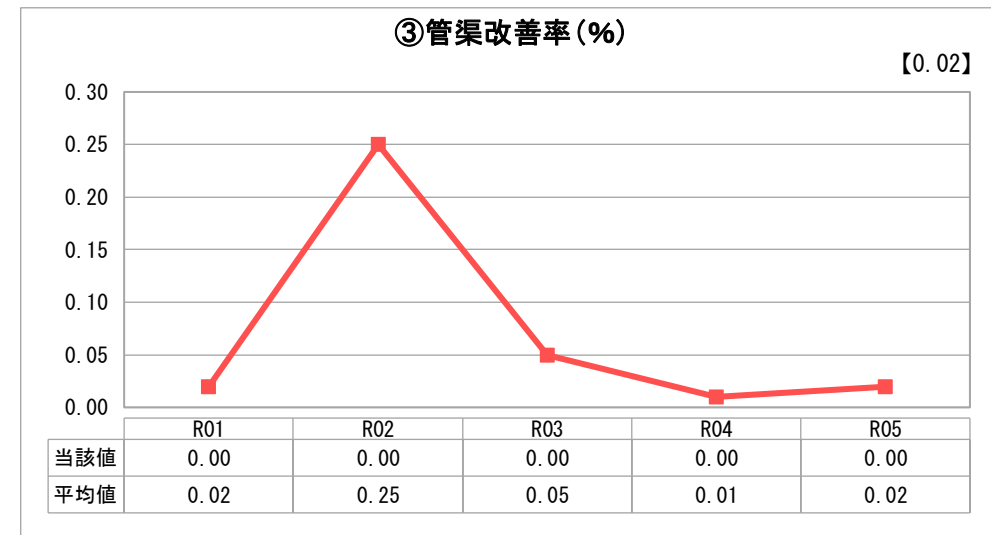
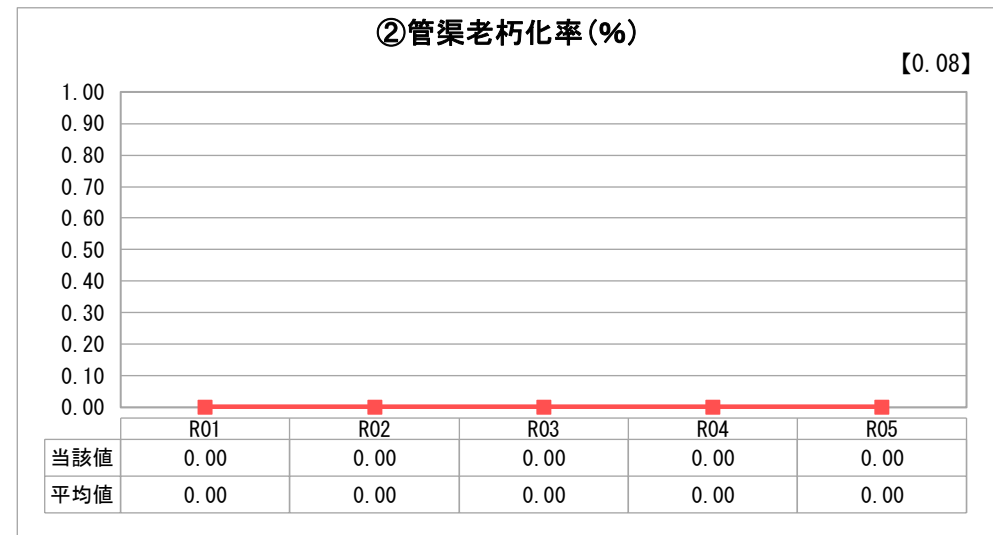
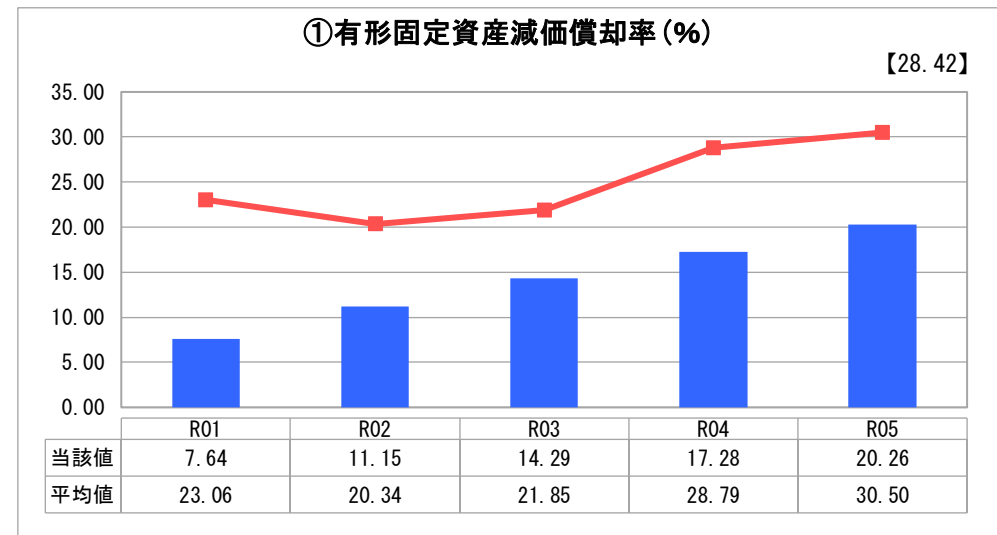
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
187,494	1,023.23	183.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,297	4.59	1,807.63

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は100%を超えているが、一般会計繰入金を除いて算定した場合は100%を下回っている。
- ② 累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率は一般的に望ましいといわれる100%を下回っているが、これは負債として基準内繰入金を財源とする企業債償還金が含まれていることが大きな要因である。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は分流式汚水資本費をすべて基準内繰入金として分類しており、当該値は0となっている。
- ⑤ 経費回収率は100%を下回っており、使用料で回収すべき経費が使用料収入で賄えていない。
- ⑥ 汚水処理原価は類似団体平均値より高くなっており、類似団体よりも汚水処理にかかる経費が高くなっている。
- ⑦ 施設利用率は類似団体平均値より高くなっており、類似団体よりも効率的に施設を利用している。
- ⑧ 水洗化率は類似団体平均値より高くなっており、類似団体よりも集落排水施設への接続が進んでいる。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は類似団体平均値より低くなっており、類似団体よりも施設の老朽化が進んでいない状況にある。
- ②③ 管渠老朽化率及び管渠改善率は法定耐用年数50年を経過した管渠がないことから、計画的な更新を行っていないため、数値は0となっている。

全体総括

農業集落排水事業は、農業集落を対象とした事業であり、処理区域面積に対し人口密度が低いことから施設効率が悪く、維持管理費用が割高となっている。公営企業は独立採算制が原則とされているが、事業開始当初より使用料収入のみでは採算を取ることができず、一般会計からの繰り入れにより経営を成り立たせている。

将来にわたって安定した下水道サービスを提供するため、人口減少を見据え、汚水の共同処理や施設規模の最適化に向けた検討など、経営戦略の取り組みを着実に進めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。